

令和2年(2020年)7月17日

れきみん

資料館だより

No. Ⅲ-28

相生市立歴史民俗資料館

〈資料紹介19〉相生村町地図・相生村北部地図

本年度春季に特別展「相生の古地図Ⅱ」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、冬季に延期することになりました。そこで、夏季企画展「古地図にみる相生村」として一部を先行展示することになりました(会期:7月1日~8月31日、会場:相生市文化会館扶桑電通なぎさホール2階展示コーナー)。本企画展では、明治前期の相生村に関する古地図(現在の相生市相生・古池地区)2点を選び、併せて現在と比較できるように地形図とともに展示しています。

以下、展示古地図について紹介します。

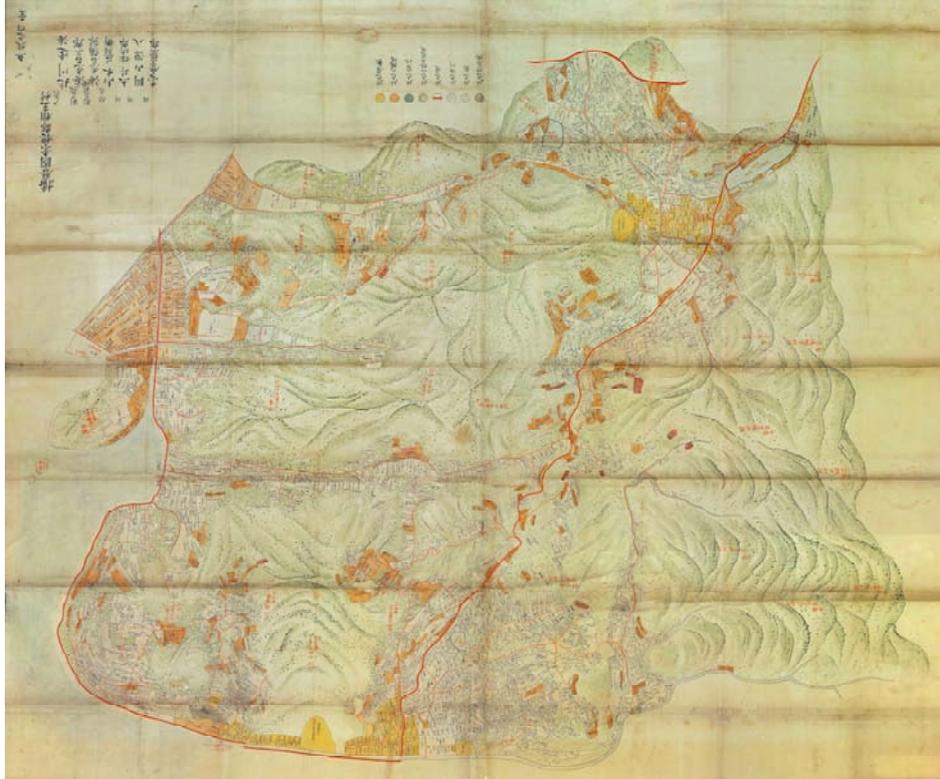


相生村町地図 明治9年(1876) 158×203cm(北を上にして展示)

- ◇ 道路と宅地(町割り)は、現在とほぼ同じです。現在も残る「フタタイゴ」と呼ばれる細い路地も描かれています。
- ◇ 「光明寺」「天満神社」「大將軍神社」「蛭子神社」の寺社はピンク色で表現され、現在と同じ位置です。
- ◇ 中央部には、かつて庄屋を務めた海老名家の^{えびな}広大な敷地が見えます(相生公民館周辺)。敷地の北側から東側にかけて、堀状の水路がめぐらされていたことがわかります。
* 海老名邸は明治27年(1894)11月に全焼・消失しました。
- ◇ 北町・南町・上町の各地区にわずかな畑地が、また光明寺の南側に田地があったことがわかります。
- ◇ 大谷川は、現在と同じように流れています。相生港は、埋め立て以前のようなすがわかります。港の東と南には石垣造りの護岸が描かれています。また、北・東・南には石垣造りの波止(防瀬堤)が見られます。北の波止先端には灯籠が描かれています(岡田精内店前に移築され現存)。
* 相生港は、平成13年(2001)から開始された「平成の埋め立て」を経て現在のようなりました。
- ◇ 相生港に接して「学校敷地」が見えます(破魔呉服店跡周辺)。

* この地図が作成された明治9年(1876)に相生小学校建設用地の埋め立てが行われ、同年10月に新校舎が落成しました。

◇ 左側上下隅の2カ所に「兵庫県下 播磨国 揖東郡 丸山正光」の朱印が、右下の地図名近くに「十二ノ一小区 香山村 丸山幸太郎」の黒印が押されており、作成者を示している可能性があります(香山村は現在のたつの市新宮町香山)。



相生村北部地図 明治10年(1877)頃 195 X 230cm (北を上にして展示)

◇ 大谷川以北が描かれています。「播磨国赤穂郡相生村」「五枚之内壹」と記されていますが、他の地図は所在不明です。おそらく相生村南部、鰯浜、壺根、千尋が描かれた地図が存在したのではないかと考えられます。「戸長」「副戸長」「副戸長試補」各1名、「保長」4名の村役の氏名が記されています。

◇ 北側は、那波村、陸村、池之内村と接していますが、現在の感覚よりも北側に境界があります。

◇ 現在の向陽台、古池、古池本町、旭(当時は藪谷^{やぶたに})は、当時は全域が相生村でした。また、垣内町、双葉、赤坂、平芝の一部も相生村でした。右上に描かれた長池北東側の先端の地が一番地です。

◇ 「屋敷地」(宅地)や「埋葬地」が描かれています。「屋敷地」は、現在の相生地区と古池に集中し、他はほとんど見られません。

◇ 田畑が詳しく描かれ、「大縄場」(計測された土地のことか)は区別されています。

◇ 山や池が描かれ、名称も記されています。池は、現在の旭6丁目西端(公園)あたりに見られる「藪谷池」のように消滅したものもあれば、古池の「長池」のように残存しているものもあります。

◇ 松の浦埋め立て前のようす知ることができます。「磯際山」は三角州の形成によって陸続きとなり、北側は田畑として利用されています。「磯際山」の南西には「巒嶋(双島)が描かれています(相生商工会議所会館付近)。現在の中央通りは葶谷川^{いそぎやま}が流れていたことがわかります。

* 元禄13年(1700)の絵図には、磯際山は島のように描かれています。松の浦の埋め立ては大正13年(1924)に着手するも中断し、昭和12年(1937)に竣工しました。中央通りは昭和28年(1953)に着工し、昭和32年(1957)に旭橋~現市役所前間が開通しました。

(中濱久喜・橋本一彦)